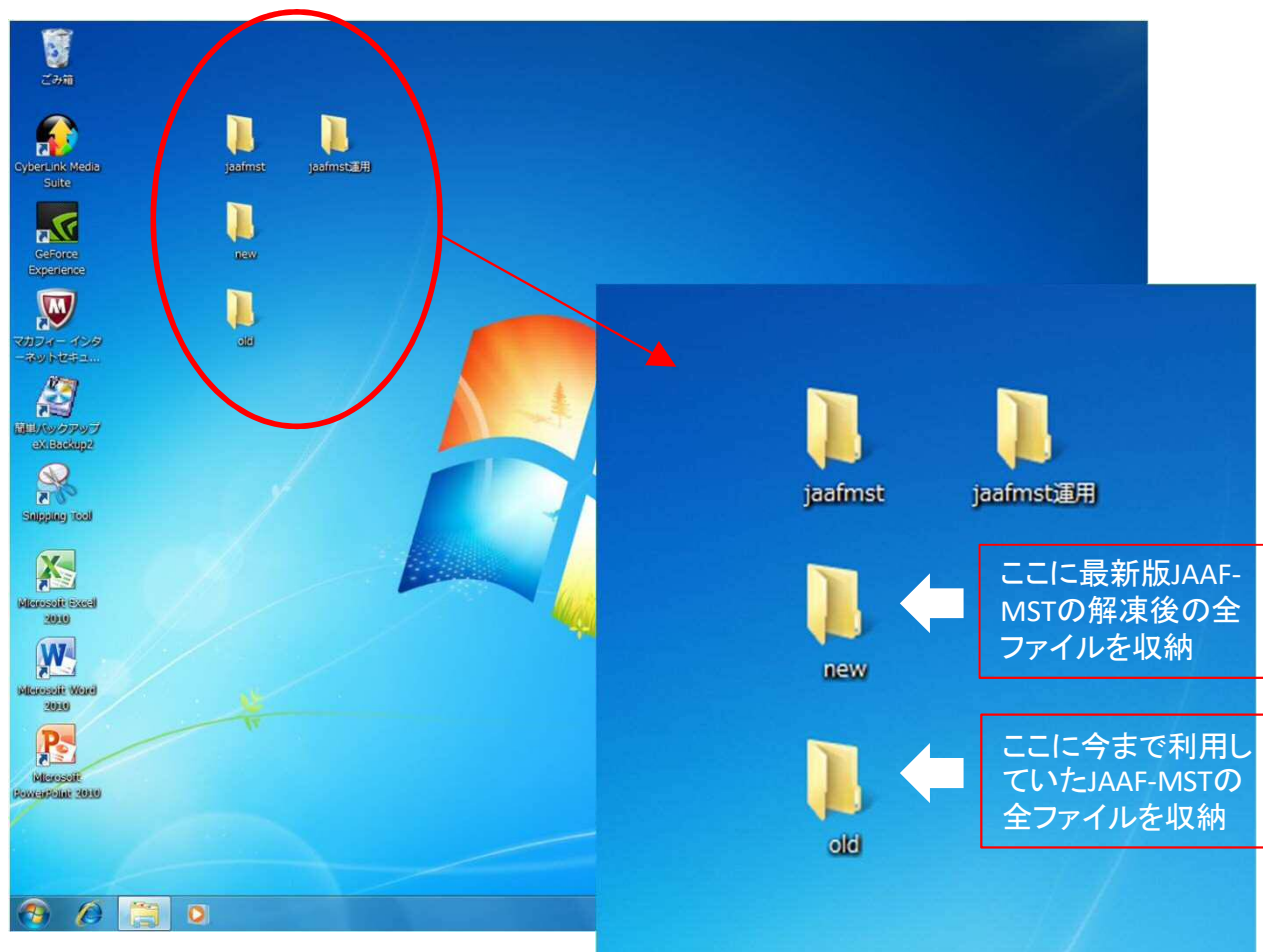


データコピー自動実行方法

■更新の概要

利用者が登録した二つのデータベースファイル（db-kihonjoho、db-kihonjoho）のデータをそれぞれ新しいデータベースファイルにコピーします。また、スタートファイルに登録した利用者事務所の情報も合わせてコピーします。

- 1) ハードディスクの任意の場所に「new」と「old」の二つのフォルダを作成します。
下図では、判り易いようにデスクトップにこれらのフォルダを設けました。
- 2) 最新版のjaafmstの圧縮ファイルをダウンロードし解凍（展開）したら、そのファイル全てを「new」フォルダに収納します。
- 3) 今まで利用していたJAAF-MSTの全ファイルを「old」フォルダを収納します。
すでにデータ入力済ファイルは万が一に備え別の場所にバックアップ（コピー）し保存しておいてください。



この例のように、実際に運用するJAAF-MSTを保存する「運用フォルダ」とダウンロードしたJAAF-MST2019を一時保存する「JAAF-MST」フォルダも同じデスクトップに作成しています。自動コピーが終了したら、全ファイルを「運用フォルダ」に移動し、このファイルを日常の作業に使用する方法が、判り易い使い方で、この方法を推奨します

前頁のデスクトップに「new」と「old」フォルダ等を作成した場合は、エクスプローラで右図のようにフォルダ階層状況が表示されます。

これらのJAAF-MST関連フォルダをデスクトップに設けることは必須条件ではありません。

利用者の状況に応じて構築している独自のフォルダ階層の中にこれらのフォルダを作成してもかまいません。

他のフォルダに「new」と「old」が存在していてもかまいません。

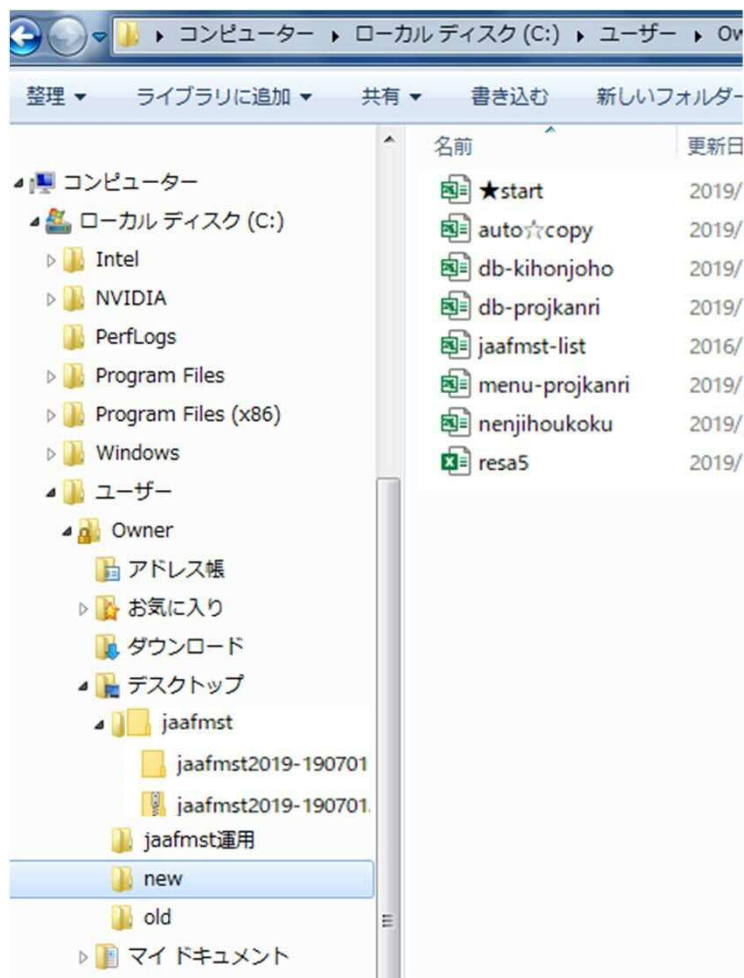
「new」と「old」は並列に配置していることが必須です。

4) 「new」フォルダに収納したファイルの中から

「auto☆copy」ファイルをクリックして開くと、データコピーのメニュー画面が開きます。前述の1)～3)の操作が済んでいること、そして、

「auto☆copy」以外のファイルが開いていないことを確認したら、「コピー開始」ボタンをクリックしてください。直ちにコピーが始まります。実行中はマクロ処理が高速で実行されるため画面が頻繁に切り替わります。

コピーが終了したら、過去のデータが新しいJAAF-MSTのデータベースファイルにコピーされていることを確認してください。



建築士事務所管理支援ツール <JAAF-MST 2019>

2014,2015,2016版→2019版 自動データコピー処理

コピー元(2016版)フォルダ名 ... ¥〇〇〇 ¥

コピー元(2019版)フォルダ名 ... ¥〇〇〇 ¥

任意のフォルダ(例:〇〇〇)直下に上記の二つのフォルダを作成し、各フォルダに各年版のファイル一式を格納してください。新規に2016版をダウンロードした際は、解凍後のファイル一式を「new」フォルダに格納してください。準備ができた次の「コピー開始」ボタンをクリックしてください。

コピー開始

自動コピーの最中は高速で実行するため画面が頻繁に切り替わります。リンク更新の可否の画面では、更新を選んでください。

(注意)コピー先の登録済みデータは全てクリア(上書き)されます。

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会
TECTOPLAN